

カタバミ (片喰み)

名前の意味：葉の先がくぼんでいる形を誰かに
かじられたと、たとえた。

分類：双子葉類、カタバミ科、カタバミ属

好きな場所：日当たりのよい道ばた、庭

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生)

特徴：3つのハート型の葉に分かれる葉、黄色い花

写真のように ^{あかむらさき}赤紫の葉のものもある。

種子の運ばれかた：果実が種子をはじき飛ばす

花弁の数：5枚、^{りべん}離弁 (花びらが一枚ずつ散る)

花の時期：3—10月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：シロツメクサの花は下の図のような形

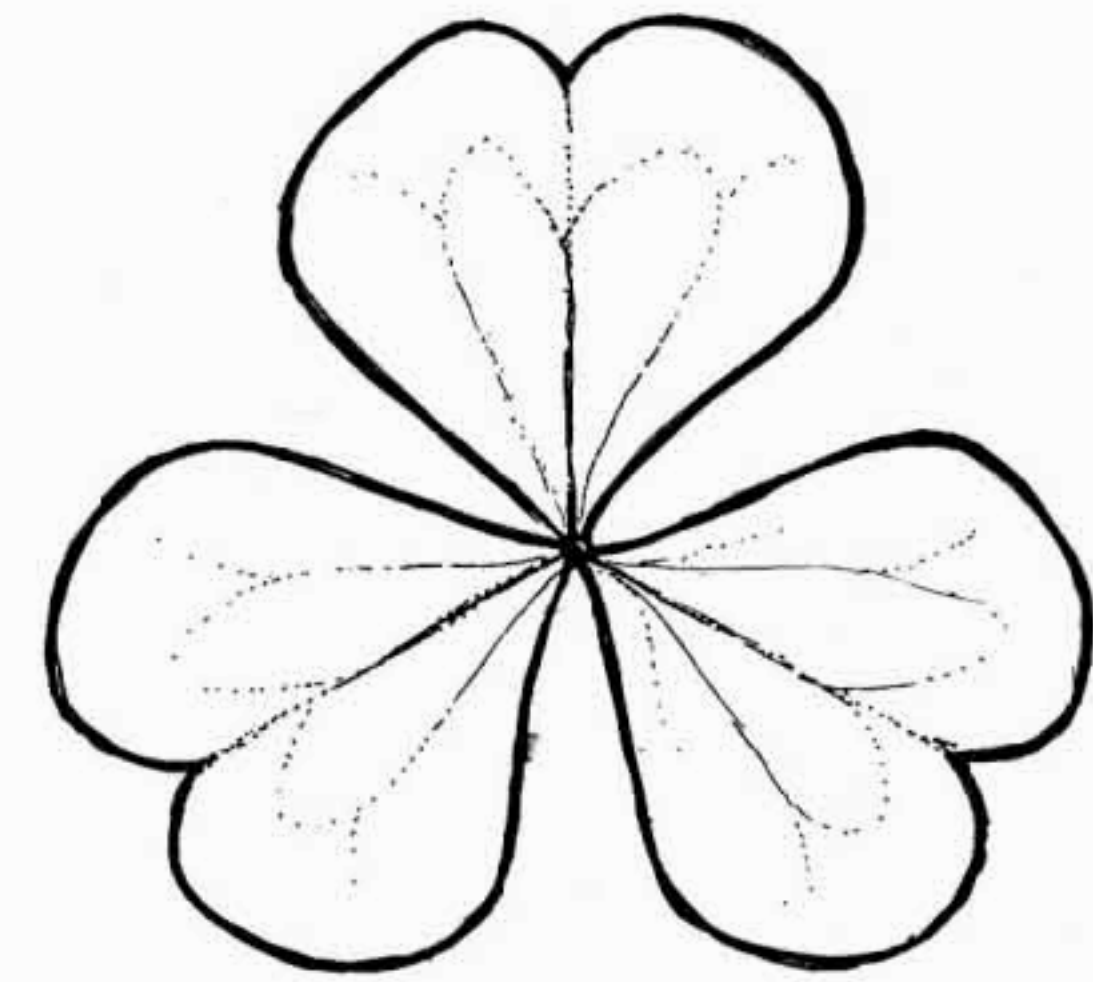
で色が白い。また、葉には細かいギザギザがある

見つけやすさ ★

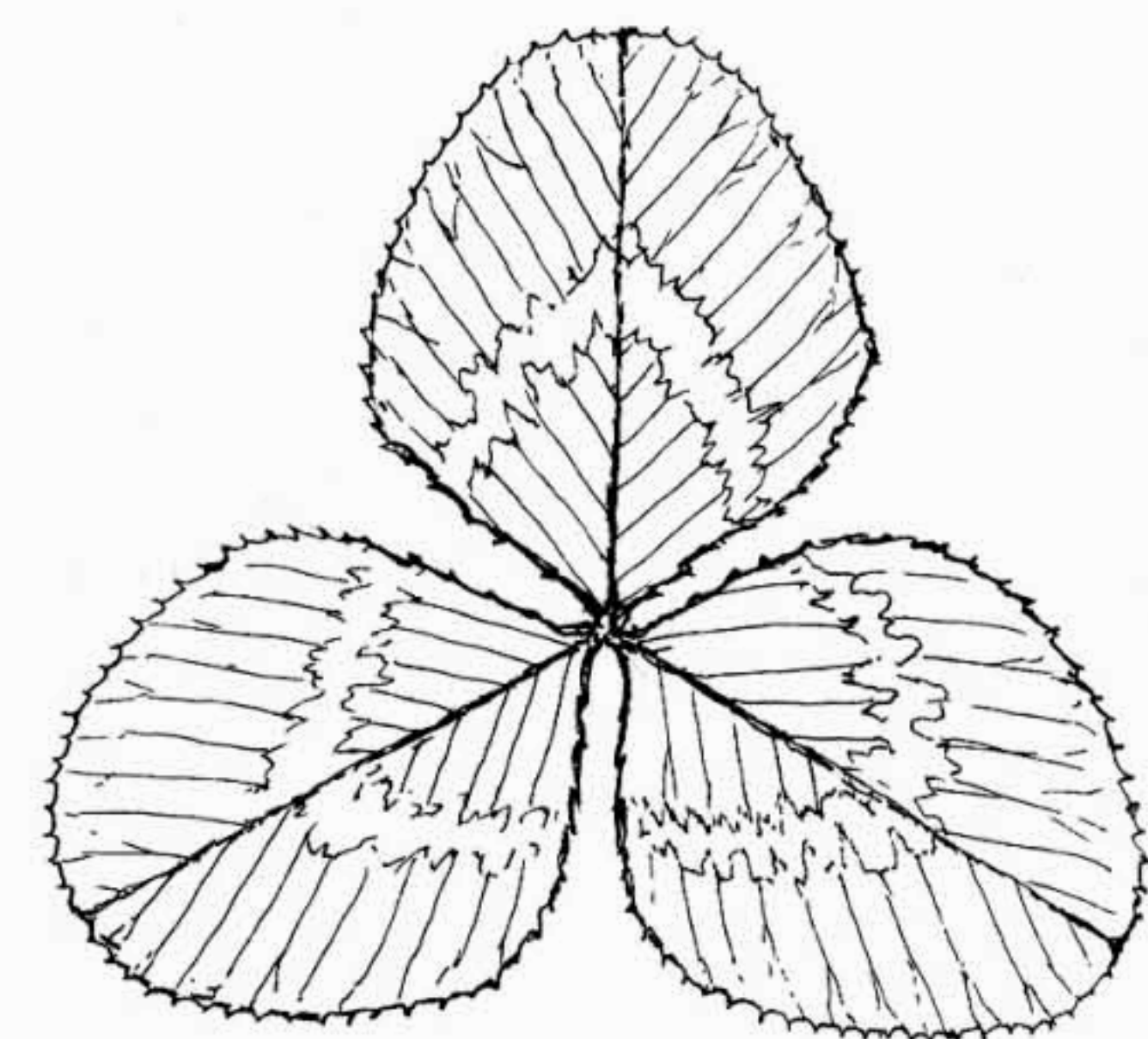
見分けやすさ ★

^{そうごうなんいど}総合難易度 ★

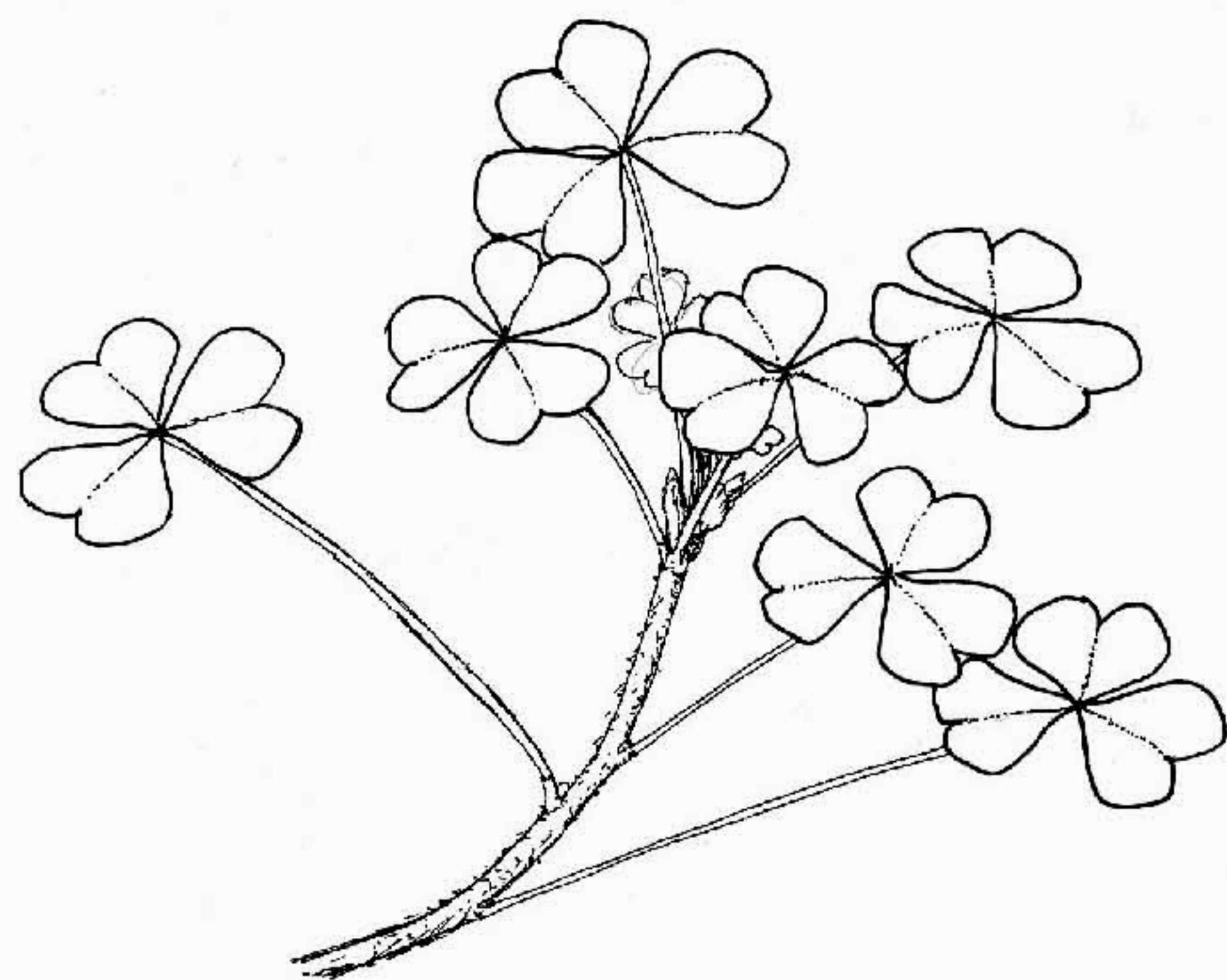
(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)



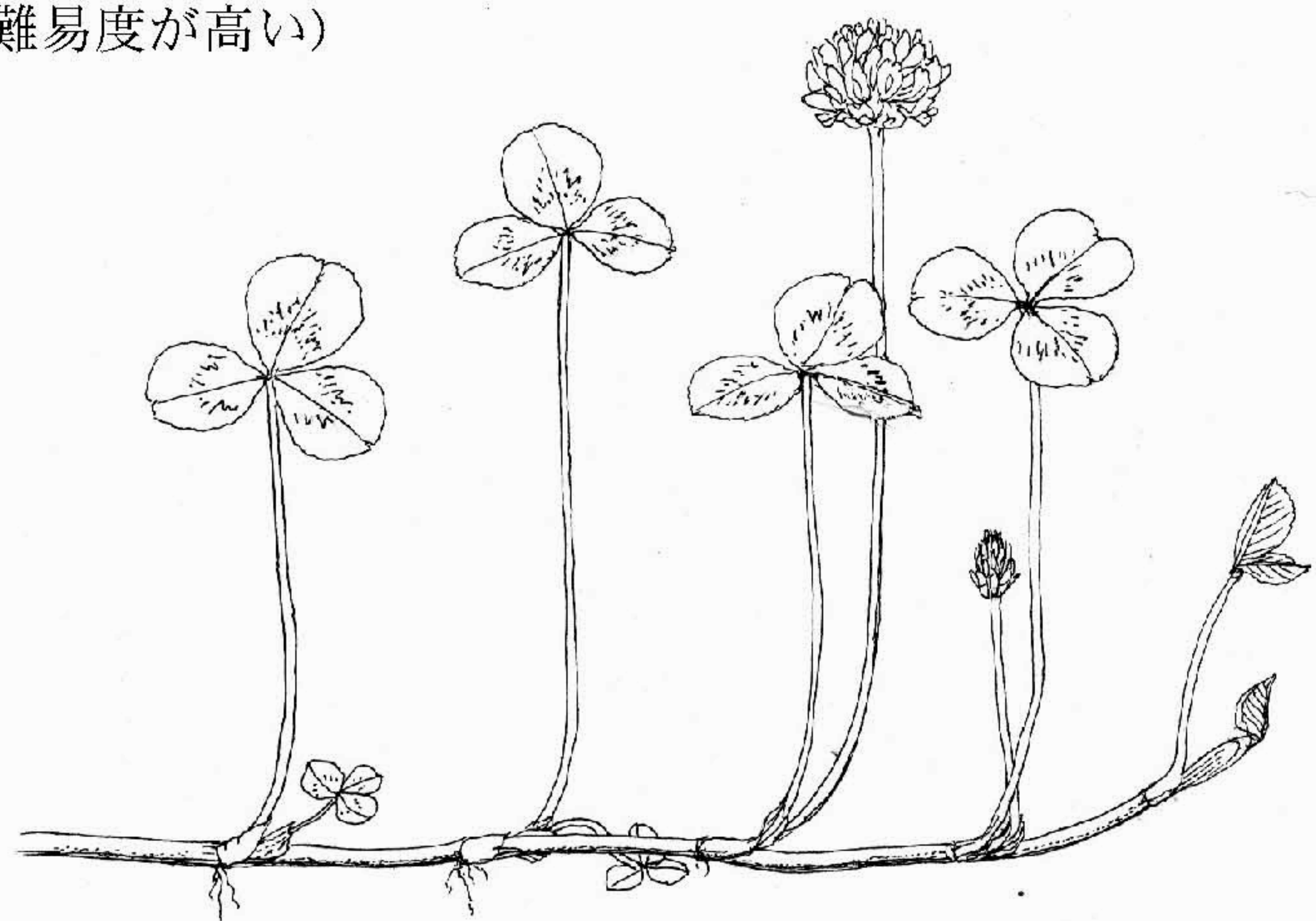
カタバミ



シロツメクサ



カタバミ



シロツメクサ